

--	--	--	--

内部監査における新技術 (AI、IoT等) への対応

～ AI、IoT等の新技術にいかに取り組むか ～

日時 2022年3月8日(火) 13:00～17:00 (4H)

会場 東京・代々木・本会内セミナー室 (右図参照)
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8 TEL(03)3403-1891(直)

講師 東洋大学総合情報学部教授
公認情報システム監査人/公認内部監査人
(元) 東京ガス(株) 監査部情報システム監査グループマネージャー
しまだ ゆうじ 氏 **島田 裕次氏**

対象 内部監査担当者、監査役、
経営管理および経理財務部門・システム部門の方々



主催 **一般社団法人 日本経営協会**

開催にあたって

AIやIoTなどの新技術の急速な進歩・普及と相まって、内部監査においても、これらの新技術への対応が求められている。AIの導入は、自動運転をはじめとして、業務支援、医療支援など様々な分野で実施又は計画されており、ビジネスへの影響も大きくなっている。その結果、経営者の新技術に対する関心が高まり、それが事業活動に貢献するかどうかを点検・評価する内部監査の役割も重要になっている。

本講座では、内部監査人は、新技術に係るリスクをどのように把握し、それに対するコントロール(対策)をどのように点検・評価すればよいのかを考えていく。まだまだ発展中の領域であり、確立したチェックリストがないのが現状であるが、チェックリスト(案)も提示しながら説明する。

■参加料(1名様)

- ◇ 日本経営協会会員(1名): 29,700円(税込)
- ◇ 一般(1名): 36,300円(税込)

■申込・支払方法

参加申込書に必要事項をご記入のうえ、郵送又はFAXにてお申込みください。追って、振込口座名を記載した請求書と参加券をご派遣責任者(連絡担当者)までお送りします。不着の場合は必ず電話にて確認ください。参加料のお振込みは原則として請求書に記載されましたお支払期限までお願いいたします。

- 振込み手数料は貴社(団体)にてご負担ください。また、領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承ください。
- 万一ご都合が悪くなった場合は代理の方がご出席ください。
- 教材は原則として当日会場にてお渡しします。
- 参加者が少数の場合、天災の場合などにおいては中止・延期させて頂く場合があります。すでにお振込みの場合は、全額返金させていただきます。
- 録音録画、撮影等は原則として出来ません。ご了承ください(特記の場合を除く)。

■キャンセルについて

開催日の3営業日前からは30%、開催当日は100%をキャンセル料として申し受けます。なお、当日までに連絡が無く欠席の場合は、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承ください。

■会員入会手続きについて

入会の詳細および特典については、ホームページの「会員検索/ご入会のご案内」をご参照ください。

■WEBお申込みの流れ

- 1 一般社団法人日本経営協会 ホームページ <http://www.noma.or.jp>
- 2 「セミナー/講座」を選択
- 3 「セミナーを探す」よりカテゴリーを選択
- 4 ご希望セミナーを検索。ご希望のセミナー名をクリック。
- 5 ご希望セミナー詳細の最後の「WEB申込」からお申込み
- 6 お申込みをいただきますと、確認メールが届きます。

お申込み・お問合せ先 **一般社団法人 日本経営協会**
企画研修グループ ●担当: 緒方
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8
TEL (03) 3403-1891(直) FAX (03) 3403-1130
E-mail: tms@noma.or.jp URL <http://www.noma.or.jp>

一般社団法人 日本経営協会 企画研修グループ 宛
FAX (03) 3403-1130

事務局 使用欄 No. 年 月 日

参加申込書		内部監査における新技術 (AI、IoT等) への対応		17908	2022.3/8 13:00開講 NOMA
企業(団体)名	フリガナ	TEL		<input type="checkbox"/> 会 員 <input type="checkbox"/> 一 般 (該当にレ印をつけて下さい)	
所在地	〒	FAX		業 種	
参加者氏名		所属・役職		メールアドレス	
フリガナ				e-mail:	
フリガナ				e-mail:	
フリガナ				e-mail:	
請求書・参加券送付先	フリガナ	所属・役職		メール アドレス	e-mail:

参加申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。
①参加券や請求書の発送などの事務処理 ②セミナー・イベントなど本会セミナー(事業)のご案内 ※なお、②がご不要の場合は□にチェックしてください。—□不要
※今後eメールによるご案内も予定しています。ご希望の方は、ご記入ください。

AI、IoT等の新技術にいかに取り組むか

プログラム内容

1. はじめに

- 内部監査の目的
- 内部監査とリスクマネジメント
- 難しくなる内部監査

2. 内部監査でのリスクの把握法

- 経営との関係を重視
- 過去リスクの分析
- 未来リスクの分析
- イメージで考える

3. リスクマネジメントと新技術

- AIとリスク
- IoTとリスク
- ビッグデータとリスク
- RPAとリスク
- テレワークとリスク

4. 監査の進め方

- AIを対象にした監査チェックリスト（例）
- IoTを対象にした監査チェックリスト（例）
- ビッグデータを対象にした監査チェックリスト（例）
- RPAを対象にした監査チェックリスト（例）
- テレワークを対象にした監査チェックリスト（例）

5. 内部監査での新技術の活用

- CAAT（コンピュータ支援監査技法）の活用法
- AI、IoT、ビッグデータ、RPAの活用可能性
- リモート監査、アジャイル監査

6. おわりに

- 過去型から未来型の監査へ
- 原因分析型から目的分析型の監査へ

*出張研修も承っております。表面のお申込先までお問い合わせください。

講師プロフィール

東洋大学総合情報学部教授 公認情報システム監査人／公認内部監査人
(元)東京ガス(株) 監査部情報システム監査グループマネージャー

島田 裕次(しまだ ゆうじ)氏

1979年早稲田大学政治経済学部卒業、同年東京ガス(株)入社、IT部門、監査部、経理部などで勤務し、2009年より現職。1999年より日本大学商学部非常勤講師、東洋大学総合情報学部教授、日本大学商学部非常勤講師（科目：コンピュータ会計論）、博士（工学）、情報処理技術者試験委員、システム監査技術者（経済産業省）、公認情報システム監査人（CISA）、公認内部監査人（CIA）、公認情報セキュリティマネージャー（CISM）。

【主な著書】『よくわかるシステム監査の実務解説(第3版)』（同文館出版）、『はじめての内部監査』（日科技連出版社）、『内部監査の実践ガイド』（日科技連出版社）、『情報セキュリティ・個人情報保護のための内部監査の実務』（日科技連出版社）、『情報セキュリティの基本』（日本実業出版社）

左記プログラムは都合により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。